

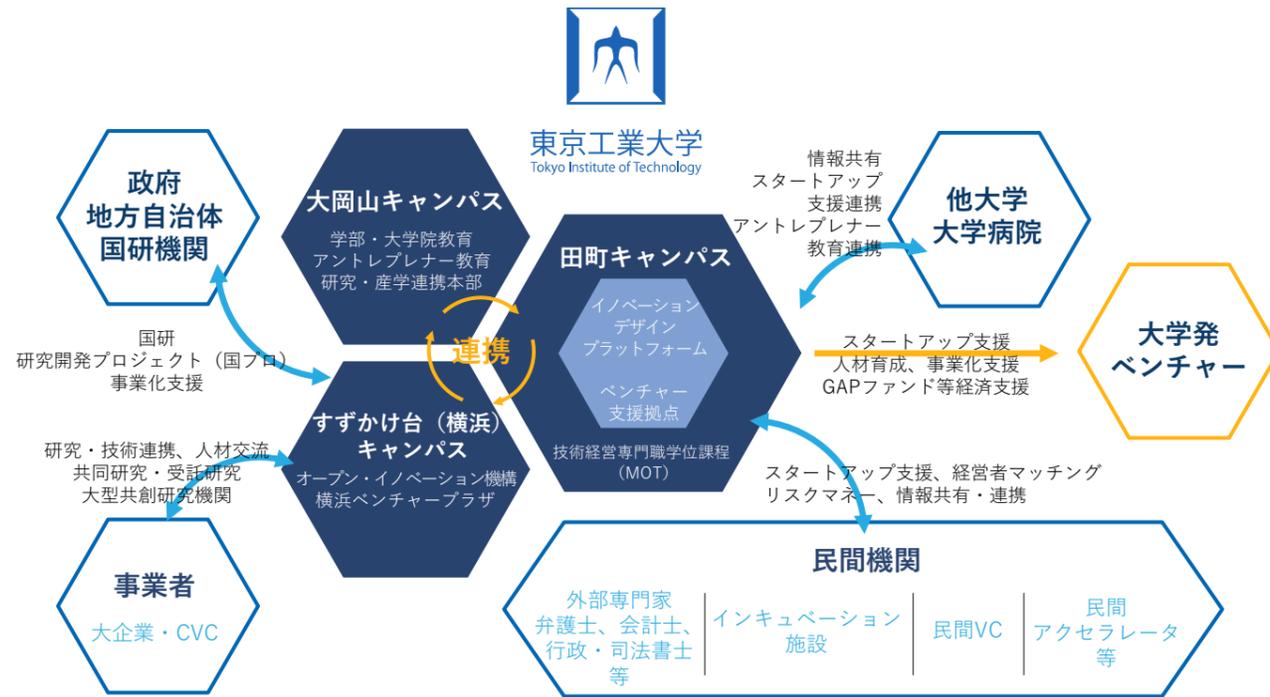
ACTIVITIES FOR CREATING TOKYO TECH VENTURES 202X

東工大発ベンチャー企業創出活動



Tokyo Tech

東工大を取りまく、スタートアップエコシステム



創立150年に向けた『ベンチャー創出活動』として

本学は、2021年創立140周年を迎えました。「工業、工場があってして工業学校を起すのではなく、工業学校を起し卒業生を出してして工業、工場を起こさしめんとした」とした創立の精神は、まさに人材を育成して産業を興すということを目指して創立されました。現在におきまして大学発ディープテックベンチャーは、産業構造転換を図り、グローバルにおける日本の経済の発展に寄与する意味において大変重要であり、東工大の果たす役割は大きいものと考えています。

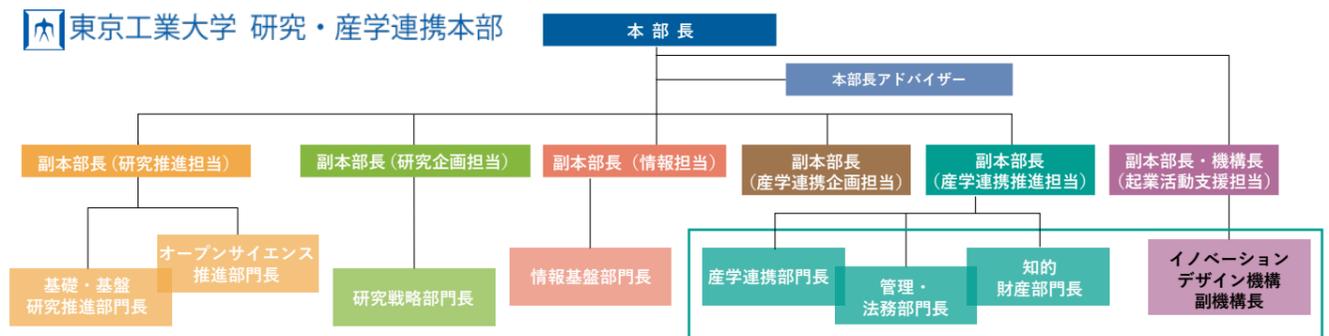
国立大学法人として国際的な競争環境の中で世界の有力大学と伍し、社会や経済の発展に貢献する取り組みの具体的成果を積極的に発信するために、大学の研究成果を実装させる企業を創出することは、非常に重要です。東工大発ベンチャー創出の新たな取り組みをさらに加速させていきたいと考えております。



体制

本部組織は学長の下、理事・副学長(研究担当)を本部長として、研究から相互に協力し、研究・産学連携を一貫通貫して推進しています。イノベーションデザ

イン機構は、本部の各部門と連携し、ベンチャー創出のシーズ探索、事業の将来価値も視野に入れた知財戦略、他企業との事業共創等を推進しています。



外部連携 多様な機関との連携により、社会実装の推進を強化 ※ () 締結年月日



みらい創造機構 (2016年 5月13日)



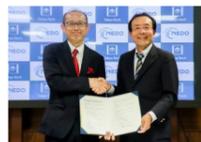
蔵前工業会 (2017年 12月26日) 2020年度蔵前特別賞・蔵前ベンチャー賞の授与式



川崎市 (2018年 5月22日)



横浜銀行 (2019年 3月6日)



NEDO (新エネルギー・産業技術総合開発機構) (2019年 5月29日)



Beyond Next Ventures (2019年 10月11日)



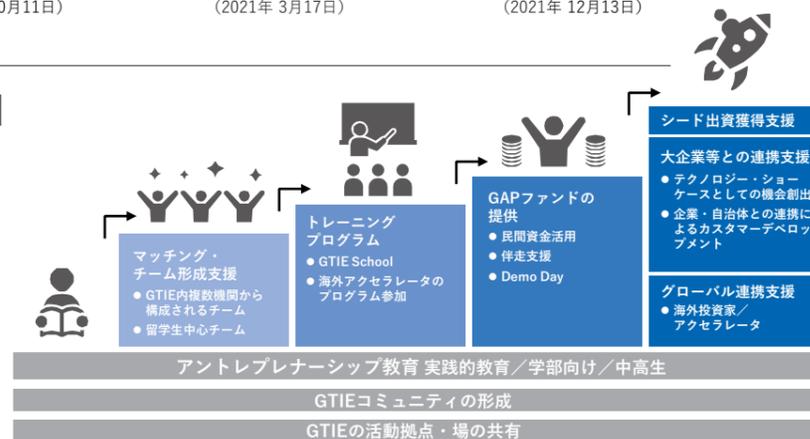
横浜市 (2021年 3月17日)



港区 (2021年 12月13日)

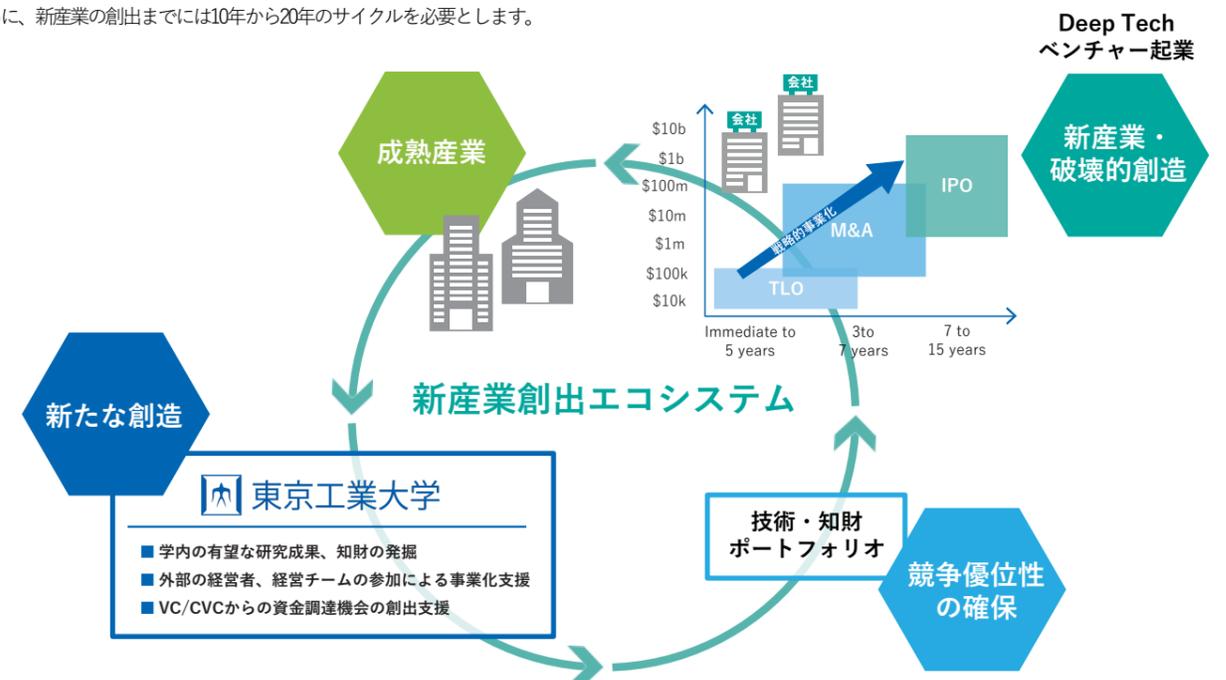
大学間連携の取り組み『GTIE』

『Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE : ジータイ)』は、東京工業大学・東京大学・早稲田大学を主幹機関とした『世界を変える大学発スタートアップを育てる』プラットフォームです。東京都等が幹事自治体となり、18大学等機関・3スタートアップ支援機関から構成される共同機関と、大学や自治体等が協力機関として参画しています。

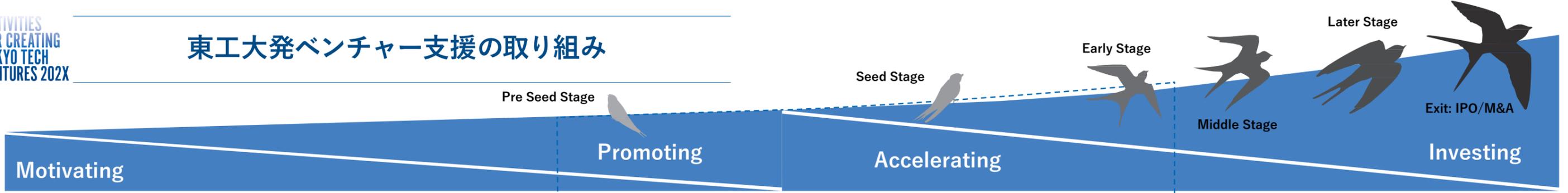


研究開発型ベンチャーによる新産業創出

TLO (技術移転機関) から本格的なベンチャー起業までは、シームレスな連携が必要です。さらに、新産業の創出までには10年から20年のサイクルを必要とします。



東工大発ベンチャー支援の取り組み

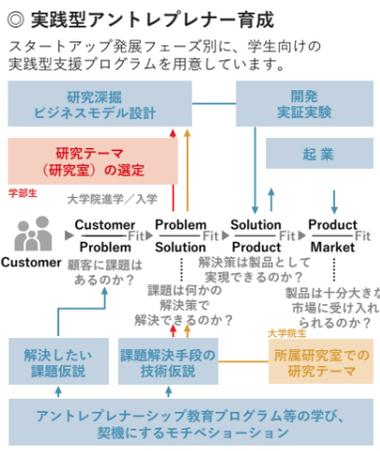


事業化 伴走支援

| | | | | | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------------------------|------------|--|-------------------------|-------------------------|
| 研究成果/ 知財の発掘 社会課題との マッチング | 研究成果の 実装手段の選択 企業連携 単独での起業等 | 実用性検討 試作品の製作 実証実験 | 事業モデル 市場調査 ビジネスプラン | チームアップ 経営者候補、 創業メンバーの 編成 | 創業 会社設立 | 事業磨き上げ アクセラ レーション プログラムへの 優先参加 | 資金調達 ① JST等 国プロ応募 | 資金調達 ② VCへの コンタクト |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------------------------|------------|--|-------------------------|-------------------------|

| | | | |
|---------------|---|--|-----------------------------------|
| 実践型アントレプレナー育成 | 起業相談室 Go startup | 実践型起業塾 STARTech | |
| 場所/設備 | インキュベーション施設『INDEST』（キャンパス・イノベーションセンター内） | 東工大横浜ベンチャープラザ（東工大YVP）（本店登記可能/ウェットラボ完備） | キャンパス・イノベーションセンター内のオフィス提供（本店登記可能） |
| 仕組み | ベンチャー企業向けネットワーキングイベント TTOP Tokyo Tech Open innovation | 顧問弁護士/弁理士紹介 | |
| 資金 | 東工大・芙蓉GAPファンドプログラム アクセラレーションプログラム BRAVE 東工大基金「学生スタートアップチャレンジ」 | 新株予約権による知財権の付与 包括提携VCの紹介 | |
| 人財 | 包括提携VCの紹介 | | |

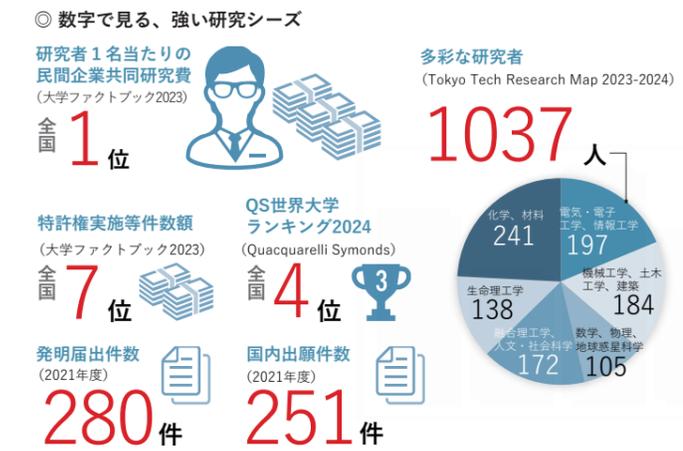
■ 共通 / ■ 研究者のみ / ■ 学生のみ



◎ 多様なアントレプレナーシップ教育プログラム

大学院を中心に初級から上級に至る様々な教育科目を用意しています。中上級プログラム受講の起業希望者は、東工大発ベンチャー支援施策を受け、起業を目指すことができます。

| カテゴリー | 地区 | 学士 | 修士 | 博士 | 社会人 | |
|--|-------------------|---|----|----|-----|---|
| カテゴリー1 スキル・マインドセットプログラム群 意欲形成・方向性、社会を相手にする準備 | 大岡山 | ToTAL [カテゴリー1/2/3] ◎ リベラルアーツ研究教育院との連携のもとに構築 ◎ 専門のコースに加えて学べる最長5年間の教育課程 | | | | |
| カテゴリー2 実践プログラム群 自らの能力の検証、社会との関わりの実践 | 大岡山 すすき台 田町 | ◎ 東工大/多摩美術大/一橋大連携プログラム ◎ エンジニア、デザイナーの社会人向け価値創造人材育成 | | | | Technology Creatives Program [カテゴリー1/2] |
| カテゴリー3 スキル・事業創出プログラム群 社会への価値提供（起業を視野） | 田町 | PEECs [カテゴリー1/2] ◎ 実践型アントレプレナー人材育成プログラム ◎ 分野融合（ライフエンジニアリング、生命理工学、都市・環境学） | | | | CUMOT [カテゴリー1] |
| | 田町 | ◎ 東工大技術経営専門職学位課程が事業主体 ◎ サーティフィケート・プログラム | | | | 社会人アカデミー |

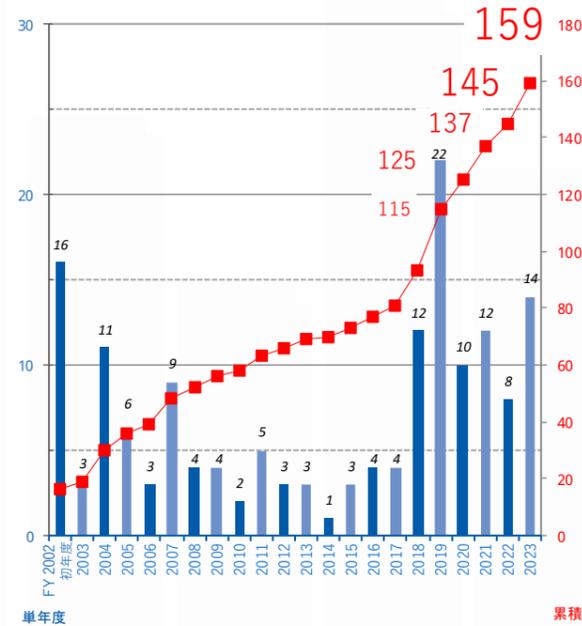


◎ ギャップファンド（ビジネスコンテスト）等支援プログラム

| プログラム名称 | 提携先 | 対象 | | 備考 |
|------------------------|--------------------------|-----|----|--|
| | | 研究者 | 学生 | |
| 芙蓉みらいGAPファンドプログラム | 芙蓉総合リース みらい創造機構 | ○ | | 2018年度より開始 100~500万円/件 19件を助成、3社創出 |
| 東工大スタートアップ支援基金 | (大学単独) | ○ | | 2022年度より開始 |
| 東大IPC 1 roundプログラム | 東京大学協創 プラットフォーム 開発 | ○ | ○ | 2021年度より参加 |
| 東工大基金による学生スタートアップチャレンジ | (大学単独) | | ○ | 2016年度より開始 最大100万円/件 61件助成、13社創出 |
| GTIE GAP ファンドプログラム | GTIE (P7) | ○ | △ | 2022年度より開始 |

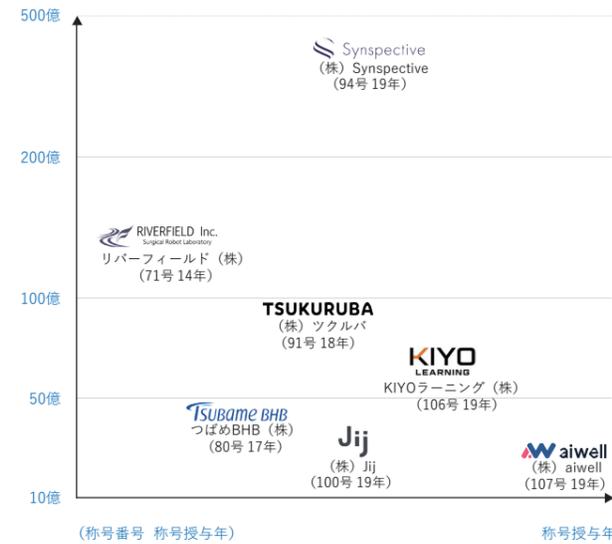
東工大発ベンチャー称号授与企業数推移

累計159社（2023年12月末時点）



東工大発ベンチャー称号授与企業時価評価額

企業時価評価額10億以上（IPO含む）INITIAL Enterprise DB 2024年1月11日現在



東工大発ベンチャー称号授与制度

[目的]

国立大学法人東京工業大学の研究成果又は人的資源等を活用して起業されたベンチャー企業について、成果や技術の社会実装を促進するために大学の称号を授与する制度

[規則]

申請資格

1 前提（1条）

国立大学法人東京工業大学の研究成果又は人的資源等を活用して起業されたベンチャー企業について、大学の称号を授与する。

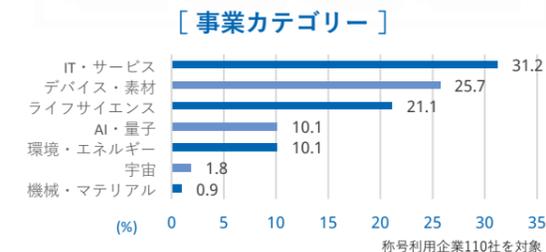
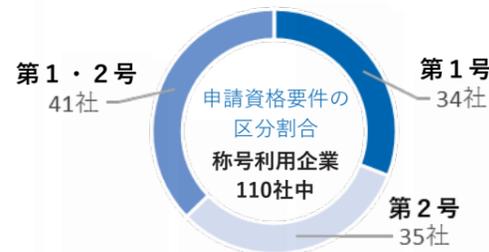
2 要件（3条）

新たな技術又はビジネス手法を基に起業した法人のうち、次の各号のいずれかに該当すること

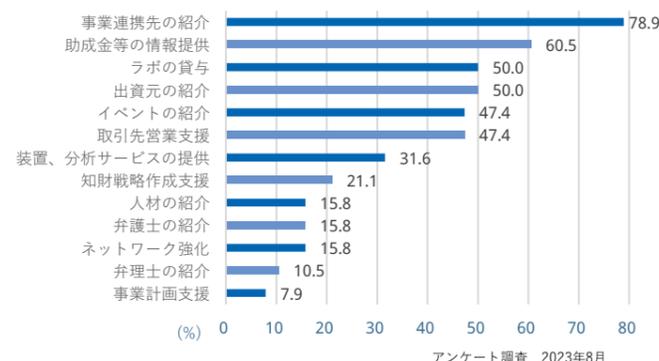
1号 大学、大学の職員若しくは学生が所有する特許権等の知的財産権又は大学において達成した研究成果若しくは大学において習得した技術等を活用すること。

2号 設立した者又は設立に深く関与した者の全部若しくは一部が、大学の職員又は学生（職員又は学生であった者を含む。）であること。

東工大発ベンチャー称号利用企業の特徴



[東工大発ベンチャーが求めている支援]



東工大発ベンチャー称号授与企業 TOPICS【IPO】企業



株式会社ツクルバ

IPO年月日 2019-07-31
IPO市場 東証Mothers

【事業内容】中古・リノベーション住宅の流通プラットフォーム「cowcamo（カウカモ）」事業、不動産領域における新たな価値創造を生む事をミッションとする不動産企画デザイン事業を展開。



KIYOラーニング株式会社

IPO年月日 2020-07-15
IPO市場 東証Mothers

【事業内容】忙しい社会人の学習を支援。主力の「スタディング」事業では、スキマ時間で資格を取得するためのオンライン資格講座を提供。法人向け研修事業では「エアコース」を展開。

(50音順)

バイオ 創業 ヘルス

aiwell株式会社

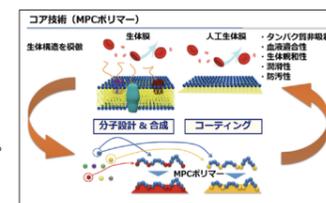
タンパク質の次世代網羅的解析技術 AIプロテオミクス*の実用化、汎用化、社会実装を推進。疾病の早期発見から創薬、薬や食品、日用品の効果効能まで、様々な生体変化を、タンパク質の変化を捉えて把握するソリューションを提供している。



素材化学 ヘルス

インテリジェント・サーフェス株式会社

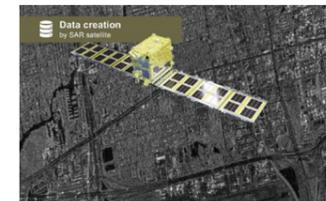
生体親和性素材「MPCポリマー」に関する知見・ノウハウに基づき、対象とする医療機器や素材に応じた最適構造のMPCポリマーを分子設計・合成し、コーティング剤として提供。技術提供も行う。一般医療機器から手掛け、高度管理医療機器へと展開を図る。



宇宙

Synspective株式会社

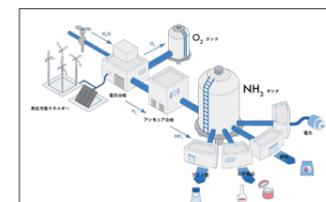
衛星データ解析によるソリューション提供および小型SAR（合成開口レーダー）衛星の開発・運用。mm単位での地盤変動モニタリングが可能なサービスを提供する。レーダ衛星とデータ解析両方のテクノロジーで、課題解決を実現している世界で唯一の企業。



素材化学

Tsubame BHB つばめBHB株式会社

低温・低圧条件下で高効率のアンモニアを合成できる「エレクトライド触媒」のコア技術を用いた、小規模分散型アンモニア生成プラント、触媒の開発、製造、販売によって、アンモニア産業のサプライチェーンイノベーションの創出を目指す。



新領域

Molecular Robotics 株式会社分子ロボット総合研究所

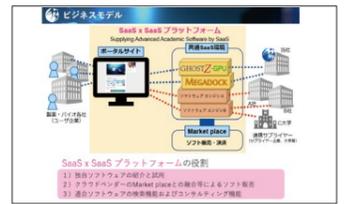
分子ロボット技術に関する研究開発型事業を行い、大学を中心とした基礎研究をビジネス化するための橋渡しの研究開発を推進。人や作物との親和性、完全再生可能で高エネルギー効率な性質を利用し、医療、農業、エネルギー問題への応用に注力する。



バイオ 創業 ヘルス

Ahead 株式会社アヘッド・バイオコンピューティング株式会社

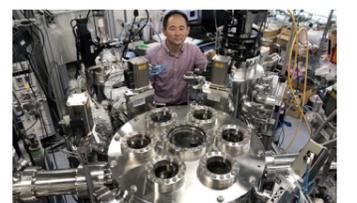
独自技術を保有するIT創業、タンパク質間相互作用予測、大規模ゲノム解析の3つの分野で、問題解決のためのソフトウェア開発・SaaSプラットフォーム開発・データ解析・コンサルティング・人材養成の事業を展開する。



ロボティクス 素材化学

株式会社クリエイティブエアロボティクス

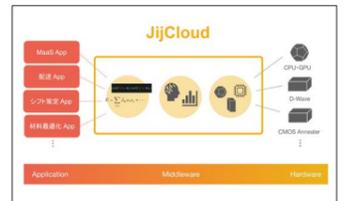
マテリアル開発競争を勝ち抜くために、AIによる探索から、試作、物性評価までの一連の流れをロボットにより完全自動化。「ベイズ最適化×ロボットの自動物質合成システム」によって、新材料探索、開発を天文学的に高速化。新材料発見の方法を革新。



量子コンピュータ

Jij 株式会社Jij

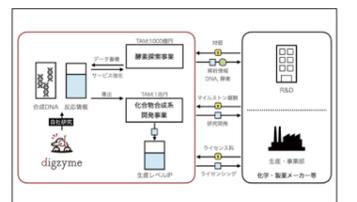
アニーリングマシンを使った実業務向けアプリケーション・アルゴリズムを開発。関連技術・最適化技術に関するコンサルティング事業を展開。最適化計算基盤（JijCloud）を提供することで最先端のアルゴリズムで事業会社の複雑な課題解決を支援する。



バイオ

digzyme 株式会社digzyme

バイオインフォマティクスを用いて化合物のバイオ生産系の構築に必要な酵素遺伝子を探査するプラットフォーム型の技術開発を中心に事業を展開。データの蓄積と高精度予測能力を実装し、酵素をより効率的に活用する新たな仕組みの提供を目指す。



バイオ ヘルス

Logomix 株式会社Logomix

ゲノム大規模構築技術プラットフォームGeno-Writing™を通じて、機能性化合物の物質生産に活用される微生物のゲノムだけではなく、ヒトゲノムをはじめとする構造が複雑なゲノムを効率よく設計変更し、産業価値のある細胞システムの構築を推進する。



VENTURES 202X TOKYO TECH FOR CREATING ACTIVITIES



Innovation
design
Platform

東京工業大学 研究・産学連携本部
イノベーションデザイン機構

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 E3-11
TEL : 03-5734-2479 FAX : 03-5734-7694
venture@sangaku.titech.ac.jp

<https://www.ori.titech.ac.jp/>